

一般質問通告書（平成29年9月定例市議会）

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
1	大戸 祐介	1. 地域おこし協力隊について	(1) その目的と現在の人数と活動内容を教えてください。 (2) 活動をやりやすくするための市のサポート体制や指導はどのように行われていますか。 (3) 任期満了後の状況はどのようになっていますか。市が理想とする形になっていますか。		
		2. 小中学校の学力向上対策について	(1) 白杵市における2017年度全国学力テストの結果を教えてください。また、その要因をどのように分析していますか。 (2) 今後、強化または重点的に取り組む施策を教えてください。		
2	戸四 映二	1. まちづくりについて	(1) 空き家・空き地対策について ① 空き家バンク制度は数年が経過し、一定の成果が出ているようですが、空き家や空き地対策の現状と課題の変化はどのように認識されていますか。 (2) 都市計画について ① 今年3月に白杵市地域公共交通網形成計画が策定されていますが、国は市町村に都市計画と公共交通網を一体化して考える「立地適正化計画」の策定を推進しています。立地適正化計画策定について白杵市はどう考えていますか。		
		2. 白杵市の公園について	(1) 仲よし子供公園の整備と活用について ① 都市公園である「仲よし子供公園」は市の中心部に立地していますが、市民の利用が少ないように思われます。有効活用のため、公園の全面リニューアルが必要と考えますが如何でしょうか。 (2) 白杵市借地公園の活用について ① 白杵市借地公園には、あまり活用されていないような公園が見受けられます。借地公園の利活用へ向けた対策が必要と考えますが如何でしょうか。		
		3. 防災について	(1) 避難体制について ① 住民の自発的な早期避難体制の確立を図るために、地域ごとで避難行動を時系列でまとめる「コミュニティタイムライン」の作成に取り組むことが有効ではないかと考えますが如何でしょうか。 ② 福祉避難所の開設・運用マニュアルの作成に取り組むとの事でありましたが、その後の経過は如何でしょうか。 (2) 災害への備えについて ① 被災者支援システムの導入に向けて検討して頂くとの事でありましたが如何でしょうか。		
3	長田 徳行	1. 中小企業における事業承継問題について	(1) 事業承継問題は避けて通ることはできません。ノウハウや人心掌握等経営能力を確実に伝承するには時間がかかる事を認識し早めに計画的な取り組みを進めていく事が重要です。行政が関わり積極的な周知が必要だと思います。どのように考えていますか。 (2) 中小企業の事業所数の推移について		
		2. 農業用ため池の老朽化対策について	(1) 市内の現状について ① ため池は何箇所ありますか ② 改修工事の事業実績について ③ ため池ハザードマップについて		
		3. ダムの管理について	(1) 放水の出来るダム湖については、どのような基準で放水を開始するのか伺いたい。 (2) 放水が始まった旨の伝達等、下流域への対応はどのようにされているか伺いたい。		

一般質問通告書（平成29年9月定例市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
4	奥田 富美子	1. 空き家バンクと移住・定住について	<p>白杵への移住希望者が多い現状ですが、空き家登録数が不足していると思われます。現状と対策についてお尋ねします。</p> <p>(1) 空き家バンクについて</p> <p>① 登録数の推移はどうなっていますか？</p> <p>② 登録を促す際にどんなことが妨げになりますか？</p> <p>③ 登録数を増やすための対策はどのようにお考えですか？</p> <p>(2) 移住・定住について</p> <p>① 移住を検討中の方はどのような住まいを希望されることが多いですか？</p> <p>② 空き家バンクを利用する場合、5年居住が条件になっていますが、現在まで途中で契約解消した人はいませんか？また、今後、条件をクリアした後も住み続けられるように地域の方との交流が図られると良いと思いますが、対策はどのようになっていますか？</p>		
		2. 人にやさしい道路の整備について	<p>(1) 八町大路の車両通行制限について 開店前の荷物の搬入などが終わった後は、市民や観光客のために通行制限や速度規制の必要があると思われしますが、どのようにお考えですか？</p> <p>(2) 段差解消の必要のある道路について 手押し車、ベビーカー、車いす、シニアカーでは「路面がデコボコ」「歩道が狭い」ために通行が困難な道があります。現状把握と今後の計画はどうなっていますか？</p>		
5	大塚 州章	1. 移住・定住政策について	<p>(1) ワンストップサービスの窓口について</p> <p>① 開設してからのメリット、デメリットについて。</p> <p>② 今後の展開について、NPO法人などの民間委託による活性化の予定はありますか？</p> <p>(2) 社会減を減らす対策の一つとして市内の住宅整備又は、新規開発があると思われしますが、市の対応策があれば教えてください。</p>		
		2. 健康増進政策について	<p>(1) 諏訪山体育館の施設について</p> <p>① 施設の現状と利用者からの評価について。</p> <p>② 今後の健康増進・スポーツ活性化の為の施設の改修・充実化について。</p>		
6	平川 哲郎	1. 介護保険制度	<p>(1) 介護報酬の2018年度改定の議論が厚生労働省で進められていますが、どのようになっていますか。</p> <p>(2) この5月に成立した改定介護保険法により「介護医療院」が新設されることになっています。それと共に新設される「共生型サービス」の内容についてお聞かせ下さい。</p>		
		2. 国民健康保険について	<p>(1) 国保の運営主体が2018年4月に白杵市から大分県に移るということで先日共同通信の調査についての報道がありました。この調査への白杵市の回答の内容をお聞かせ下さい。</p> <p>(2) それによって国保料（税）は上げないよという国の指導はありますか？</p>		
		3. 小学校のエアコン設置	<p>(1) エアコン設置については夏休み中に全ての中学校に設置するということでしたが、小学校については今後どのように進めていくのかお聞かせ下さい。</p>		
		4. 石橋について	<p>(1) 白杵市には多くの貴重な石橋があります。これらの保存、整備について、又、石橋の所在地を示す看板などを作るよう、これまでたびたび要求してきましたが顕著な進展は見られません。石橋は大変な労力と周辺の住民の協力で作られてきました。川野茂太郎という石工は広範囲に活躍し、多くの石橋を建造してきました。そういうところにもっと光を当ててほしいと思いますがいかがですか。</p>		

一般質問通告書（平成29年9月定例会市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
7	土谷 桂山	1. 障がい者差別を許さない条例について 2. いじめ防止等に関する条例について 3. 買い物弱者に対する対策について	(1) 国が障害者基本法をはじめとする国内法を整備し、障害者の権利に関する条約を批准する等障がいのある人の権利の実現に向けた取組が進められる中、大分県はこの件に関する条例を制定している。白杵市にはこの条例がありますか。 (2) また、障害者差別解消法支援地域協議会の設置について現状どうなっていますか。 (3) 条例の制定の手順として、障がい者団体の要望を聞く必要があると考えますが、市内にはいくつの団体がありますか。 (1) 平成25年9月にいじめ防止対策推進法が施行されました。それを受けて大分県いじめ防止基本方針が、平成26年4月に策定されました。白杵市の状況はどうなっていますか。 (2) 基本方針と条例にはちがいがあると考えますが、なぜ白杵市では「いじめの防止等に関する条例」の制定がされていないのですか。 (3) 条例制定を実施するべきだと考えますが、制定にむけての手順を示して下さい。 (1) 民間の移動販売サービスがあると思いますが、実態についてお知らせ下さい。 (2) 高齢化が進む中、行政の対応が求められると考えますが、今後どのように対処していきますか。		
8	内藤 純孝	1. 野津庁舎旧館の建て替えについて 2. 野津高校跡地利用について 3. 防災について	(1) 6月定例会において、建て替えに向けての調査費が計上されています。協議が行われているとは思いますが、今後どのような計画で推移するのか伺います。 (2) 野津庁舎は商店街の中心に位置しており、その商店街は衰退が大変心配されております。人の流れを生み、にぎわい創出に寄与できるような対策が新庁舎には必要と思いますが、市の考えを伺います。 (1) 市は跡地利用について、これまでに本格的な協議を行ったことがありますか。 (2) 県は「学校として活用するのであれば、土地は無償で払い下げる」とのことです。野津地域の統合小学校・幼稚園としての活用を多くの市民も望んでおり、検討すべきと考えますが、市の見解を伺います。 福岡・大分両県に甚大な被害をもたらした九州北部豪雨が7月に発生し、集中豪雨の恐さを改めて認識させられました。市としても人命第一に様々な災害から市民を守る努力が必要と考えます。 (1) 自治体から出される避難情報は、危険性の高い順に避難指示（緊急）、避難勧告、避難準備・高齢者等避難開始とあります。どのような段階で市民に情報提供を行っていますか。 (2) 気象庁が発表する防災気象情報との違いはありますか。 (3) 防災情報の入手方法として、携帯電話による県民安全・安心メールがありますが、市民の加入率は把握できていますか。 (4) 道路の寸断などにより孤立する集落が相次ぎ、被害全容の早期把握が困難であったとの報道もありました。情報把握にはドローンの活用が有効な手段と思われれます。大型ドローンの導入を検討すべきと思いますが、市の考えを伺います。		
9	吉岡 勲	1. 危険ブロック塀等の除却に対する補助の実施（安心・安全な道づくりのため）	(1) 災害時の避難路やスクールゾーンに指定されている箇所にある塀等の撤去や改修に、市として補助や助成等ができないか。		